

子育てサービスの充実について

河田 和美 議員

問 ①手ぶら登園を実現するための、紙おむつのサブスク制度導入についてのお考えは？②誰でも授乳やおむつ交換のできる「赤ちゃんの駅」設置のお考えは？

答 ①紙おむつのサブスクについては、希望する保護者にとって登園準備の時間や手間、荷物などの負担軽減につながるものと認識しており、有効な選択肢の一つとして検討してまいります。②授乳やおむつ交換ができる公共・民間施設を認定する「赤ちゃんの駅」制度の導入に向けて進めてまいります。屋外イベント等での乳幼児への対応が可能な移動式テントは、ご家族が安心して気軽に参加できる空間の一つとして、その確保に努めてまいります。

・他の質問項目：市ホームページについて

近鉄郡山駅移転と駐車場問題について

丸谷 利一 議員

問 市は近鉄郡山駅移転を150メートル北に決定した。このため、現商業施設アスモを解体し、その跡地の買収費と解体費用及び整備費が必要となった。これは、特定の民間法人の利得につながる。中心市街地の発展に寄与せず、空き地などの移転計画の見直しが必要では。

答 アスモ大和郡山のリニューアルは、公共駐車場を再整備する上で十分な駐車台数を確保できる敷地が他になく、現所有者と官民連携による共同開発について合意に至ったためです。また、民間法人が開発主体となることで、従来型の公共事業で必要となる補償の放棄や解体新築費の共同負担が可能となり、コストダウンと工期短縮を図り、駅前のテナント事業継続と賑わいの創出を図ります。

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて

福田 浩実 議員

問 訪問診療、訪問看護を実施するためにクリニックの誘致や人材確保、患者さんを支援するためのご家族や支援員さんに対する支援、そのための予算増額については？「にも包括」を構築するにあたり課題と対応策についてどのように考え、どのように取り組まれていきますか？

答 市がクリニックを誘致することは困難ですが、精神保健分野での相談が増える中、支援員さんへの相談会等についても予算の確保に努めます。精神障害のある人が安心して地域で生活するためには住民の理解が不可欠なものであり、市民への啓発を進めるとともに、精神障害者を支援する関係機関との連携を密にしていきます。

・他の質問項目：がん対策について

学童保育の保護者負担について

下地 敦志 議員

問 放課後児童クラブサポートセンターの意思決定は、支援員で構成される「代表者会議」で実施しているが、保護者のご意見はどこで反映するのか。

答 センター設立時には各保護者会に出向き意見交換を行い、設立後には各支援員を通じた議事録等での情報共有化を基にセンター等窓口での対応を主とし、加えて「代表者会議」におきましては、希望する保護者会関係者の見学、傍聴、意見聴取する機会を設けさせてもらっております。今後は、運営主体移行時のサポートセンター総会等への出席など方法を検討していきたいと考えております。

・他の質問項目：小中学校の授業時間数の見直しについて
三の丸駐車場の移転について

治道地区の活性振興策について

乾 充徳 議員

問 治道地区の開発で、東西に設置される道路にあわせて、その先線整備が必要と考えるが、市のお考えは？

答 当該地は、伊豆七条町、横田地区の地区計画区域の北側で造成協力地として位置付けられており、開発工事完了後の令和8年5月以降を目途に本市の管理用道路となります。将来的には、大和北道路の工事進捗に伴い、現在の進入路は封鎖され、地区計画区域の南西側からの進入となります。新たに区域内の道路整備がなされれば一体で市の管理用道路となります。この先線の延長約100mを整備することで、市道横田田中線とも繋がりがり市道認定ができます。本開発を契機とし、治道地区の活性振興を担う上で、この先線の整備は、慎重に検討を進めてまいります。

近鉄郡山駅周辺整備事業について

鈴木 健嗣 議員

問 近鉄郡山駅周辺整備事業には、地元商店街や周辺住民から、自由通路の位置、駅前商店街への影響、駅前踏切の歩行者・二輪車化、新アスモのテナント誘致、工事中の買い物対応など、様々な要望や不安の声が寄せられているが、どのように対応していくお考えか。

答 駅移設、自由通路設置場所、九条12号踏切の交通形態変更などは本事業の根幹部分であるため現状の素案を基本として進めていきたいと考えております。新アスモのテナントは民間事業者の決定となりますが本市も地域の核となる食品スーパーの誘致を要望している他、駅周辺の回遊性に配慮した駅前広場のデザインに取り組むなどできる限り住民の声に応えていきたいと考えております。